

高校日本史教科書検定における沖縄戦「集団自決」に関する検定意見撤回を求める意見書の提出に関する陳情

( 19 陳情第 60 号 )

受理年月日	平成19年9月28日
陳情者	

(要旨)

陳情の要旨

次の事項について地方自治法第99条の規定により、貴議会が国に対して意見書を提出されるよう陳情いたします。

高校日本史教科書検定での沖縄戦「集団自決」に関する検定意見撤回を求めること。

杉並区議会

### 【陳情の趣旨】

先に文部科学省が行なった高校日本史教科書検定において、沖繩戦における「集団自決」事件に関して日本軍の関与に強制を認めた記述に、削除を求める検定意見が付されました。この検定をただちに撤回し、教科書の当該記述を元にもどすことを決議します。

これは歴史の歪曲であり、歴史そのものの否定です。天皇制に国体護持の捨て石にされて死に追いやられた膨大な数にのぼる沖繩の労働者民衆を、ふたたびみたび虐殺するに等しい行為です。これは、アジアの民衆と国際的連帯をなすべき青少年の未来を破壊するものです。これは過去の歴史事実に関する認識に限定される問題ではありません。改憲・戦争へ向けた動きが激しくなっている政治情勢にあつて、かつての沖繩戦を「正しい戦争」と理論づけ、沖繩戦で労働者民衆に強制された死を「国のために散華した美しい死」と描きだそうとする政府の意図が見えます。米軍再編の要をなす沖繩を侵略出撃拠点にすると同時に、沖繩をはじめすべての労働者に戦争動員・戦争協力を強いるための攻撃です。これはまきれもない戦争教育です。

杉並区においては、一昨年の中学校歴史教科書の採択にあたって、「新しい歴史教科書をつくる会」が編集した扶桑社の教科書が採択されています。かつての朝鮮・中国―アジア侵略戦争を、「日本の自存自衛のために必要な戦争だった」と記述している歴史教科書を、杉並区立中学校のすべての生徒は学習することを強制されています。

このような動きを止めるために、文部科学省は、沖繩戦における「集団自決」事件に関して日本軍の関与に強制を否定する教科書検定意見を撤回するべきです。